



今月は、「全国学力・学習状況調査」についてです。

主体的に学び、考える力の育成

～「令和5年度 全国学力・学習状況調査」結果の活用～

「全国学力・学習状況調査」の調査問題には、**学習指導上、特に重視される点や身に付けるべき力がメッセージとして示されています。**ぜひ、自校の結果を分析・検証し、「**チーム学校**」で**授業改善**を進めましょう！

質問紙調査結果から

主体的・対話的で深い学びに取り組んでいる児童生徒には、平均正答率が高い傾向

※自己有用感の育成にも有効

ポイント1 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善が重要

こんな授業をめざしましょう

平均正答率と相関がある調査項目です。日々の授業に取り入れましょう！



- 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む
- 学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現する
- 自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表を行う

学力調査結果から

国語科の「読むこと」（精査・解釈）、「書くこと」（考えの形成、記述）の定着に課題

ポイント2

目的や意図に応じて、複数の資料を関連付け、自分の考えを形成することが重要

くわしくはこちら **校内で共有！**

徳島県ホームページ

https://siryou.tokushima-ec.ed.jp/page_20230207022015



国立教育政策研究所ホームページ

<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>



▶ 授業アイデア例一覧

<https://www.nier.go.jp/jugyourei/r05/index.htm>



▶ 学習指導の改善・充実に向けて

<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/setsumeikai/r05setsumeikai/index.html>



校内ミニ研修（例）

- (1) 自校の課題に応じて、**調査問題を1問選び、みんなで挑戦する。**
- (2) **どのような力が必要か考え、話し合う。**
- (3) 「**報告書**」等を読み、**授業改善について協議する。**



※各教科（特別号）は、後日、発出します。